

1. 製品及び会社概要

- 1.1 **製品名**
松風ハイライト シェードアップ
- 1.2 **会社名**
株式会社 松風
- 1.3 **住所**
京都市東山区福稲上高松町 1 1
- 1.4 **担当部門**
技術部品質保証課
- 1.5 **担当者**
品質保証課長
- 1.6 **電話番号**
075-561-1112
- 1.7 **FAX 番号**
075-561-2272

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

物理化学的危険性

火薬類	区分外
可燃性固体	区分外
自然発火性固体	区分外
自己発熱性化学品	区分外
酸化性固体	区分 3

人健康有害性

皮膚腐食性/刺激性	区分 1A
眼に対する重篤な損傷/眼刺激性	区分 1
皮膚感作性	区分外
生殖細胞変異原性	区分外
特定標的臓器・全身毒性（単回暴露）	区分 2（呼吸器系）
特定標的臓器・全身毒性（反復暴露）	区分外

環境有害性

水生環境有害性（急性）	区分 3
水生環境有害性（慢性）	区分外

記載のないものは分類対象外または分類できない。

GHS ラベル要素



注意喚起語

危険

危険有害情報

火災助長の恐れ；酸化性物質
重篤な薬傷・眼の損傷
重篤な眼の損傷

注意書き

臓器の障害のおそれ（呼吸器系）

水生生物に有害

[安全対策]

添付文書を読み理解するまで取り扱わないこと。

保護手袋、保護眼鏡、保護面を着用すること。

この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。

粉塵、ミスト、蒸気を吸入しないこと。

熱から遠ざけること。

取扱い後はよく手を洗うこと。

環境への放出は避けること。

[応急措置]

眼に入った場合、直ちに流水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外して洗浄を続ける。直ちに眼科医の診察を受けること。

皮膚に付着した場合、除去されるまで多量の水と石鹼で洗浄すること。刺激が生じた場合は、医師の診察を受けること。

吸入した場合、新鮮な空気のところまで体を毛布等で保温して安静にし、必要に応じて医師の診察を受けること。

飲み込んだ場合、清浄な水で口の中を洗浄し、無理に吐かせないこと。直ちに医師の治療を受けること。

[保管]

密閉して、火気及び直射日光を避けた常温（15～25℃）暗所に保管すること。

[廃棄]

内容を明確にして公認の産業廃棄物処理業者に委託するか、もしくは地方公共団体の規則に従うこと。

国・地域情報

国内法は第 15 章「適用法令」を参照のこと。

3. 組成及び成分情報

3.1 単一製品・混合物の区別

混合物

3.2 成分及び含有量

過酸化尿素 10 %

プロピレングリコール

ポリエチレングリコール

グリセリン

ビニルポリマー

香料

その他

3.3 官報公示整理番号（化審法） 一、2-234、7-129、2-242

3.4 CAS No. 124-43-6、57-55-6、25322-68-3、56-81-5

4. 応急措置

4.1 眼に入った場合

直ちに流水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外して洗浄を続ける。直ちに眼科医の診察を受けること。

4.2 皮膚に付着した場合

除去されるまで、多量の水と石鹼で洗うこと。
皮膚刺激又は発疹が生じた場合は医師の診断、手当てを受けること。
直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。又は取り去ること。
汚染された衣類を再使用する前に洗濯すること。

4.3 吸入した場合

新鮮な空気のところまで体を毛布等で保温して安静にし、必要に応じて医師の診察を受けること。

4.4 飲み込んだ場合

清浄な水で口の中を洗浄する。無理に吐かせないこと。直ちに医師の治療を受けること。

5. 火災時の措置

5.1 消火剤

粉末消火剤、炭酸ガス消火剤、泡消火剤、乾燥砂

5.2 特定の消火方法

速やかに容器を安全な場所に移す。移動不可能な場合は、容器及び周囲に散水して冷却する。消火作業は適切な消火剤等を用いて風上から行う。

5.3 消火を行う者の保護（保護具等）

必要に応じて呼吸保護具を着用すること。
火災によって刺激性、腐食性又は毒性のガスを発生する恐れがある。

6. 漏出時の措置

6.1 人体に対する注意事項

関係者以外の立ち入りを禁止する。
作業者は適切な保護具を着用し、眼、皮膚への接触やガスの吸入を避ける。適切な保護衣を着けていないときは破損した容器或いは漏洩物に触れてはいけない。
立ち入る前に、密閉された場所を換気する。

6.2 環境に対する注意事項

河川、水路や下水に流れ込まないように注意すること。

6.3 除去方法

乾燥砂等に吸着させてから空容器に回収する。

6.4 二次災害の防止

全ての発火源や可燃性物質を速やかに取り除く。

7. 取り扱い及び保管上の注意

7.1 取り扱い

皮膚、目との接触、蒸気の吸入等を避けるために、適切な保護眼鏡等の保護具を使用すること。
室内で取り扱う場合は、局所排気装置等で換気を充分行うこと。塩基、強酸と接触させないこと。

7.2 保管

容器は密栓し、火気及び直射日光を避けて、常温（15～25℃）暗所に保管する。

8. 暴露防止及び保護措置

8.1 設備対策

局所排気装置、安全シャワー、手洗い・洗顔設備、洗眼器等

8.2 環境濃度

設定されていない。

- 8.3 許容濃度**
グリセリン ACGIH (2005 年版) TLV-TWA 10mg/m³
- 8.4 保護具**
保護マスク、保護手袋、保護眼鏡

9. 物理的及び化学的性質

- | | |
|---------------------|----------|
| 9.1 外観等 | 無色透明のジェル |
| 9.2 臭い | 特異臭あり |
| 9.3 pH | 6-7 |
| 9.4 融点・凝固点 | データなし |
| 9.5 沸点、初留点および沸騰範囲 | データなし |
| 9.6 引火点 | データなし |
| 9.7 燃焼または爆発範囲の上限・下限 | データなし |
| 9.8 蒸気圧 | データなし |
| 9.9 比重又は嵩比重 | データなし |
| 9.10 溶解度 | 可溶 |
| 9.11 η-オクタノール/水分配係数 | データなし |
| 9.12 自然発火温度 | データなし |
| 9.13 分解温度 | データなし |

10. 安定性及び反応性

- 10.1 安定性**
通常条件では安定。空気中で分解して尿素、酸素、水になる。
- 10.2 反応性**
加熱すると分解して、有毒のガス（窒素酸化物、一酸化炭素、二酸化炭素）を発生する。

11. 有害情報

- 11.1 急性毒**
- | | | | | |
|--------------|----|------|------|-----------------------------|
| プロピレングリコール： | | | | |
| | 経口 | マウス | LD50 | 24 g/kg |
| | | ラット | LD50 | 20 g/kg |
| | | ウサギ | TD50 | 19.2 g/kg |
| ポリエチレングリコール： | | | | |
| | 経口 | ラット | LD50 | 30200 mg/kg |
| | | マウス | LD50 | 29 g/kg |
| | | ウサギ | LD50 | 26800 mg/kg |
| | 経皮 | ウサギ | LD50 | > 20 g/kg |
| グリセリン： | | | | |
| | 経口 | ラット | LD50 | 12600 mg/kg |
| | | マウス | LD50 | 4090 mg/kg |
| | | ヒト | LDLo | 1428 mg/kg |
| | 吸入 | ラット | LC50 | > 570 mg/m ³ /1H |
| | 経皮 | ラビット | LD50 | > 10 g/kg |
- 11.2 皮膚腐食性・刺激性** 重篤な薬傷・眼の損傷
- 11.3 眼に対する重篤な損傷・刺激性** 重篤な眼の損傷
- 11.4 呼吸器感作性または皮膚感作性** データなし
- 11.5 生殖細胞変異原性** データなし
- 11.6 発がん性** データなし

11.7 生殖毒性	データなし
11.8 特定標的臓器毒性（単回ばく露）	臓器の障害のおそれ（呼吸器系）
11.9 特性標的臓器/全身毒性（反復ばく露）	データなし
11.10 吸引性呼吸器有害性	データなし

12. 環境影響性

12.1 水生環境有害性（急性）	
水生生物に有害	
プロピレングリコール：	TLm96：1000 mg 以上/L
グリセリン：	金魚 LC0 >10000 mg/L
12.2 水生環境有害性（慢性）	
データなし	

13. 廃棄上の注意

産業廃棄物として処理に関する法律、規則、条令に則り廃棄する。廃棄する場合は、内容を明確にして産業廃棄物処理業者に委託する。

14. 輸送上の注意

14.1 注意事項	直射日光及び高温を避けて、上記の保護具を用意しておくこと。
14.2 国連番号・国連分類	非該当

15. 適用法令

15.1 消防法	危険物第4類第3石油類（水溶性）
15.2 労働安全衛生法	非該当
15.3 化学物質管理促進法	対象物質無し。
15.4 劇物毒物取締法	過酸化尿素として 劇物（法第2条別表第2）（法令番号：2-12） 劇物（指定令第2条）（政令番号：21）

16. その他の情報

本記載内容は、現時点で弊社が入手した資料・情報・データに基づいて作成しておりますが、新しい知見により改定されることがあります。

また、注意事項は通常の取り扱いを対象としたものであって、特殊な取り扱いの場合は、その用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご利用ください。

*）本製品は、歯科用として設計しておりますので、他の用途のご利用の場合は、その用途・用法に適した安全対策を実施の上、性能についても事前にご確認の上でご利用ください。